

2021年2月4日

日本コヴィディエン、カンガルーシリーズ最新型経腸栄養用ポンプを発売

日本コヴィディエン株式会社（本社：東京都新宿区）は同社カンガルーシリーズの経腸栄養ポンプの最新機種となる「カンガルー Connect ポンプ」の販売を2月1日より全国の医療機関に向けて開始した。

カンガルー Connect ポンプは、奥行4cm、重量330gと、同社の経腸栄養用ポンプシリーズで最小のサイズ。24時間バッテリー駆動、日本語の画面表示に加え、見やすいバックライト付きカラー液晶画面を採用し、病院だけでなく在宅での使用にも配慮している。

近年、在宅ケアの需要の高まりに比例し、在宅での栄養投与の機会が増加しているが、経腸栄養用ポンプを使用することで、在宅でも細やかな速度調整なしに精度の高い栄養投与が期待できる。

日本コヴィディエンでは、今回、カンガルー Connect ポンプの発売により医療機関はもとより、在宅ケア領域の栄養管理にもサポートの幅を広げてトータルエリアでの“栄養管理のベストパートナー”を目指すとしている。

—以上